

公益社団法人 日本経営工学会
第33期第8回理事会議事録

日 時：平成28年9月17日（土） 15:00～17:00

場 所：慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館5F 大会議室

出席者：（理事）河野宏和、二ノ宮滋、外館晃、篠田心治、松林伸生、伊呂原隆、稲田周平、
斎藤文、小西昭士、内田耕平、大久保寛基、皆川健多郎

（監事）後藤正幸

欠席者：（理事）岩崎昭

（監事）高橋勝彦

議決事項

1. 第33期第7回理事会議事録の確認の件

庶務担当理事より、(資料1-1)に基づき、第33期第7回理事会議事録(案)が提示され、議事録として全会一致で承認された。

2. 入会、会員権利喪失承認の件

会員担当理事より、(資料：1-2)に基づき、正会員8名、学生会員8名の入会申請が報告され、全会一致で承認された。また、入会目的として、企業は最新の経営工学の技術・動向の情報把握、学生会員は大会の参加発表・論文投稿が多い傾向にあることが報告された。

3. 次期役員、代議員選挙の件

庶務担当理事より、(資料：当日配布)に基づき、選挙委員会委員、代議員推薦委員会委員の候補が報告され、全会一致で承認された。

なお、第一回選挙委員会を、10月29日（土）の秋大会の昼休みに実施し、主に委員長の選出およびスケジュール確定、業務説明を行うことが報告された。

4. 大会規則第2条の改定の件

大会担当理事より、(資料：1-3)に基づき、5月または6月に開催する総会を春季大会時に実施できるよう、春季大会開催時期に6月も含める旨の大会規則変更の提案があり、全会一致で承認された。

協議事項

1. 大会規則第3条の改定の件

大会担当理事より、(資料:1-4)に基づき、大会規則及び大会細則に定められている支部持ち回り制、大学での実施を前提とする記載について、支部持ち回りが難しく、大学での実施もコスト面からメリットがなくなっている現状を鑑み、削除する旨の提案があった。

本件については、第3条の2項にある「9月前」の文言を「9か月前」とすること、3項に対し「大会委員会の依頼により、支部等の会員を大会組織委員会に加えることができる。」と変更することを前提に、提案が全会一致で承認された。

2. 予稿集の著作権の件

大会担当理事より、(資料:1-5)に基づき、大会予稿集の著作権に関する記載を明確化するため、著作権規則の附則に定める対象著作物に大会予稿集を追加するとともに、ホームページ

上の発表申し込みのサイトに著作権に関する注記を記載する旨の提案があり、全会一致で承認された。

併せて、産学連携研究交流会等における企業事例に関する発表資料や配布資料に関する著作権の扱いについても問題提起があったが、論文や大会予稿と同様の扱いとすることは難しいことから、これについては庶務委員会の方で持ち帰り検討を行うこととした。

報告事項

1. 退会について

会員担当理事より、(資料 1-2)に基づき、退会について報告がなされた。

2. 第一四半期(1Q)の予実算報告について

財務担当理事より、(資料:1-6)に基づき、第一四半期(1Q)の予実算報告がなされた。なお、実算は、計上タイミングにずれがあり、精緻化できていない状況であることから、各部門で継続して収支を見ていただきたい旨の依頼があると同時に、中間決算に向けて整合性を取っていくことが報告された。

3. 「国際化タスク」の進捗状況について

二ノ宮副会長より、(資料 1-7)に基づき、3月23日開催の「座談会」の結果報告も兼ねた「JIMA/JIIE 連携プログラム・セッション」を10月29日(土)の秋大会で実施する報告があり、本セッションへの出席依頼があった。また本件に関して研究委員会より、産学連携研究交流会で挙げた研究テーマを共有してほしいとの意見があった。また会長より、グローバル展開する企業が直面する課題により踏み込むことで、企業に訴求していくことも必要ではないかとの意見があった。

4. 2016年秋季大会について

大会担当理事より、(資料:1-8 及び当日配布)に基づき、2016年秋季大会のプログラムの概要が報告された。また、10月28日(金)の昼食時に開催するIE協会との交流会への出席依頼があった。

IE協会との連携セッションとして企画している「産学連携ラウンドテーブル」については、テーマや進め方の詳細を詰め、参加者の確保に向けた検討を継続することとした。

5. 2017年春季大会について

大会担当理事より、(資料 1-8)に基づき、大会開催日程を5月26日(金)、27日(土)とすることが確認された。また、関西IE協会との連携に向けて、会長名で依頼状を発行する件について承認された。

6. 2017年秋季大会について

大会担当理事より、(資料 1-8)に基づき、11月2日(木)、3日(金・祝日)にパシフィコ横浜にて開催することが確認された。なお開催方法について、両日とも半日はIE協会と共催とする等、連携を強化した形での開催とすることが必要であるとの意見があり、IE協会と協議しながら検討することとした。

7. 研究部門の書籍発行について

研究担当理事より、(資料 1-9)に基づき、「経営科学とその応用(仮題)」を発行することが報告された。

8. 第 33 期第 8 回「国際渉外委員会」理事会報告について

国際渉外担当理事より、(資料 1-10)に基づき、協賛行事、国際会議情報の公開サービス状況および APIEMS 関連事項等について報告があった。

APIEMS2016 の理事会における JIMA からの新理事、Fellow の推薦の方針について、必要に応じて会長より指摘事項を連絡することとした。

また、FMES シンポジウムを「safety2.0」をテーマとして、11 月 24 日に実施する旨の報告があった。併せて、次年度の開催は JIMA が幹事となる旨の報告があった。

その他、日本規格協会より協賛行事に関するポスターの掲示の依頼があったが、掲載場所がないこと、HP 上等で告知していることから、今後はポスターの送付は不要と連絡した旨の報告があった。また、日本工学会から役員の推薦依頼があったが、今回は推薦を見送ることとした旨の報告があった。

9. 掲載料・別冊代請求一覧について

編集(論文誌)担当理事より、(資料1-11)に基づき、掲載料・別冊代請求について報告がされた。

なお、請求No. 0120-67-1-5、0120-67-1-6は、入金確認が取れたため記載を削除することとした。

10. 経営システム誌の発刊について

経営システム誌の改革の方向性として、来年の 4 月以降、学会の情報提供ツールとしての意味合いを強める方向で検討している旨の報告があった。現状の紙媒体だけでは頒布が会員に限定され、新規入会の促進に寄与できない一方、Web によって非会員にも公開することで会員のメリットが失われる懸念があることが説明された。これに対して、紙媒体の記事を部分的に Web で公開することや、Web を活用するなら発刊頻度を上げてはどうかといった意見が出され、効果的な発刊の形態について継続検討していくこととした。

11. オーガナイズド・セッションについて

秋大会において 10 月 29 日(土)13 時~14 時に、「日本経営工学会の人材育成と課題(人材育成委員会主催)」をテーマにセッションを予定しており、学生を中心に周知いただきたい旨の依頼があった。

12. 倉庫整理について

庶務担当理事より、7 月 29 日に国際文献社の外部倉庫の整理を実施し完了したことが報告された。併せて、ホームページの更新や理事会の議事録作成など、第 4 回理事会(1 月 9 日開催)で承認された事務局委託内容見直しに伴う業務改善項目については、全て完了または計画通りに進捗していることが報告された。

13. 業務執行状況報告

代表理事より業務執行状況について報告がなされた。まず河野会長からは、産学連携研究交流会の第二期の企画、学会の活動全般に関する進捗確認及び改善指示、他学会との連携に

関する方向付けについて業務を執行した旨の報告がなされた。次に二ノ宮副会長からは、四半期毎の予実算管理と国際化タスクの活動の方向性についての検討を行ったとの報告がなされた。最後に外館副会長から、産学連携研究交流会の第二期の企画と進捗管理を進めた旨の報告がなされた。

議 長 河野 宏和 印

議事録署名人 後藤 正幸 印